

平成26年度(2014年度)事業計画書
平成26年(2014年)4月1日～平成27年(2015年)3月31日

現代演劇の振興に関する事業

1. 現代演劇に関する公演、普及啓発事業

(1) 高校生のための巡回公演 (芸術文化振興基金に申請中)

昭和 49 年度より文化庁の国庫金補助事業として実施。平成 2 年度からは芸術文化振興基金<現代舞台芸術創作普及事業>として実施している。

巡回作品は、平成 25 年 9 月 12 日開催の選考会で選考。

●期間と地域

平成 26 年 5 月～12 月 東京都ほか 2 府 23 県 6 作品 100 回

●演目、制作団体、回数

①『 **野球部員、舞台に立つ!** 』制作/青年劇場 (20 回)

原作/竹島由美子 脚本・演出/福山啓子

出演/中川為久朗、船津基、武智香織 他

②『 **ラリー ぼくが言わずにいたこと** 』制作/東京演劇アンサンブル (15 回)

作/ジャネット・タージン 脚本・演出/公家義徳

出演/坂本勇樹、原口久美子、清水優華、神成美忍 他

③『 **ハムレット ～ to be or not to be** 』制作/東京演劇集団風 (20 回)

作/W.シェイクスピア 訳/小田島雄志 演出/ペトル・ヴトカレウ・浅野佳成

出演/柳瀬太一、篠崎美納、佐野準、白根有子 他

④『 **12人の怒れる男たち** 』制作/東京芸術座 (20 回)

作/レジナルド・ローズ 訳/額田やえ子 演出/稲垣純

出演/北村耕太郎、井上鉄夫、下落合秋、山村勇人、鈴木健一朗 他

⑤『 **はい、奥田製作所。** 』制作/銅鑼 (10 回)

作/小関直人 演出/山田昭一

出演/鈴木瑞穂、千田隼人、佐藤文雄、横手寿男、菊池佐玖子、谷田川さほ、郡司智子 他

⑥『 **ミュージカル『ブツダ』** 』制作/わらび座 (15 回)

台本・作詞/齋藤雅文 演出/栗山民也 作曲/甲斐正人

出演/戎本みろ、椿千代、三重野葵、岡村雄三、遠藤浩子 他

(2) 都立高等学校 定時制通信制課程演劇鑑賞教室（東京都教育委員会主催事業）

平成7年度から都の委託公演として、定時制高校生を対象にした合同観劇を実施。平成25年度はわらび座制作の「パフォーマンスバンド響『走れメロス』」を上演した。現在、下記の内容で公募中。

企画・制作／公益社団法人日本劇団協議会

演目／未定（公募中）

平成27年1月21日（水）～23日（金）（3回） 会場＝銀座ブロッサム中央会館

(3) 教育事業

現代演劇を普及するために教育的観点から推進する事業。

① 検証ワークショップ

学校等でコミュニケーション授業／演劇ワークショップ等を実践しているファシリテーターのワークショップを実際に体験し、終了後に参加者全員でディスカッションする。

② セミナー/ラウンドテーブル

演劇鑑賞教室や演劇教育を充実・発展させるため、様々な分野の関係者を招聘し、課題解決をはかるためのセミナー/ラウンドテーブルを実施する。

2. 現代演劇に関する人材育成事業

(1) 日本の演劇人を育てるプロジェクト

～トップレベルの演劇人を多面的に育成し、現代演劇の振興発展を図る～

（文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に申請中）

これまで実施してきた事業を再構築し、統括団体ならではの広い視野で様々な人材育成事業を行い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家（演劇人）を育成する。

主催／文化庁・公益社団法人日本劇団協議会 制作／公益社団法人日本劇団協議会

① 「日本の劇」戯曲賞 2014

最優秀賞に選ばれた作品は必ず上演される戯曲賞。平成22年度より文化庁の委託事業として実施。平成25年度は80作品の応募の中から予備選考で9作品が選ばれ、さらに選考の結果、芝原里佳氏の『マッシュ・ホール』と佐々木透氏の『家族の休日』が最優秀賞に決定した。平成26年度は1作品を選出する。

選考委員／板垣恭一、上村聡史、中屋敷法仁、宮田慶子 ほか（予定）

応募締切／6月28日 選考会／8月（予備選考は7月）

② 「日本の劇」戯曲賞 2013 最優秀作品上演公演

前年度の「日本の劇」戯曲賞最優秀賞作品を上演する事業。平成 25 年度は佐々木透氏の『家族の休日』を内藤裕敬氏の演出で恵比寿・エコー劇場において上演した。

『マツシュ・ホール』

作／芝原里佳

演出／上村聡史

プロデューサー／菅野重郎

平成 27 年 3 月（7 回） 会場／恵比寿・エコー劇場

③ 在外研修の成果公演

文化庁新進芸術家海外研修制度（平成13年度までは芸術家在外研修、14年より20年度までは新進芸術家海外留学制度）により研修を行った若手芸術家に研修成果を発表する機会を提供するという事業。平成 17 年度より実施しているが、23 年度からは新たな枠組みの中で実施している。

『The River』

作／Jez Butterworth 翻訳／高田曜子

演出／青木豪（平成 24 年度派遣）

美術／二村周作（平成 12 年度派遣）

プロデューサー／伊藤達哉（平成 25 年度派遣 ゴーチ・ブラザーズ）

出演／森尾舞（平成 17 年度派遣） ほか

平成 27 年 2 月 6 日～15 日（14 回） 会場／OFF/OFF シアター（予定）

④ 新進演劇人育成公演

舞台芸術分野の優れた新進演劇人で発表の機会に恵まれない者に、発表の機会を提供することにより、新進芸術家の育成を図る事業。平成 14 年度から文化庁の委嘱事業として実施していた「新進芸術家公演事業」を引き継ぎ「次世代を担う演劇人育成公演」として、平成 17 年度から 21 年度まで文化庁芸術団体人材育成支援事業として実施してきたが、平成23年度から再構築し、新たな枠組みの中で[劇作家部門][演出家部門][俳優部門]と部門別に実施することにより事業の趣旨を明確にし、さらなる成果を期待する事業。

【演出家部門】

『友達』

作／安部公房 演出（育成対象）／平塚直隆（オイスターズ）

出演／稲吉直人、工藤真、なかつしお、児玉俊介、上田定行、中尾達也、二瓶翔輔、

後藤好子、長浦恵、徐梨恵、四釜里絵、山田マキオ、青井美都 ほか

プロデューサー／森釗（俳優館）

平成 26 年 11 月 20 日～24 日（7 回） 会場／愛知県芸術劇場ホール

『 トンカツロック 』

作／横内謙介 演出（育成対象）／田島幸（扉座）

出演／犬飼淳治、岩本達郎、江原由夏、松本亮、松原海児（以上 扉座）

渡久山孝洋、橋口充、加藤もあ

プロデューサー／田中信也（扉座）

平成 25 年 12 月 10 日～ 14 日（7 回） 会場／テアトル BONBON

【俳優部門】

A 『 音楽劇 阿部定の犬 』

出演（育成対象）／五島三四郎、山下直哉、宮川安利（以上 流山児★事務所）

山崎薫、神在ひろみ、大浦千佳

出演／谷宗和、甲津拓平、小林七緒、流山児祥（以上 流山児★事務所）野口和美 ほか

作／佐藤信 演出／西沢栄治

プロデューサー／流山児祥（流山児★事務所）

平成 26 年 6 月 10 日～ 25 日（20 回） 会場／Space 早稲田

B 『 ビー・ヒア・ナウ 』

出演（育成対象）／小沢道成、小野川晶、三上陽永、杉浦一輝、渡辺芳博、大杉さほり、

塚本翔大、森田ひかり

作／鴻上尚史 演出／深作健太

プロデューサー／倉田知加子（サードステージ）

平成 26 年 7 月 10 日～ 21 日（16 回） 会場／シアターグリーン BIG TREE THEATER

C 『 back cindy 』

出演（育成対象）／鈴木智久、松村泰一郎、宇佐見輝、澤井俊輝、鈴木翔音、藤森陽太、

若林健吾、浅川拓也、久保優二、田中俊裕、千葉健玖、羽場涼介、

藤波瞬平、門馬一樹

出演／藤原啓児、笠原浩夫、曾世海司、青木隆敏、仲原裕之

作・演出／倉田淳

プロデューサー／揖斐圭子（スタジオライフ）

平成 26 年 8 月 16 日～ 25 日（16 回） 会場／ウエストエンドスタジオ

D 『 検察官 』

出演（育成対象）／金丸卓弘、前屋和喜、大田怜治

出演／柴田義之、山本隆世、翁長諭、則松徹、小出康充、南拓哉（文学座）、上野裕子、

室井美香

作／ゴーゴリ 翻訳／志賀重仁 演出／ペトル・ブトカレウ

プロデューサー／柴田義之（1980）

平成 27 年 1 月 30 日～ 2 月 8 日（10 回） 会場／HTS スタジオ

E 『芝居』

出演（育成対象）／高子未来（札幌座）、坂本祐似、木山正太
作／サミュエル・ベケット 翻訳／安堂信也、高橋康也 演出／すがの公
プロデューサー／笠島麻衣（札幌座）
平成 27 年 2 月 25 日～ 28 日（7 回） 会場／シアター ZOO

⑤ 新進劇団育成公演

主宰者・構成員すべてが新進芸術家で、将来、我が国の演劇界を牽引すると期待される劇団（集団）を加盟非加盟を問わず育成する事業。

『凡人の墓』

育成対象劇団／悪い芝居（主宰者／山崎彬）
作・演出／山崎彬
出演／呉城久美、池川貴清、大川原瑞穂、山崎彬、森井めぐみ、北岸淳生、宮下絵馬、植田順平、畑中華香、高橋紘介、川上唯（以上 悪い芝居） 大塚宣幸、益山貴司 ほか
音楽・演奏／岡田太郎 照明／加藤直子 音響／児島壘 衣裳／植田昇明
舞台監督／大鹿展明
スーパーバイザー／吉田健二（イツフォーリーズ）
平成 26 年 9 月下旬／10 月上旬（16 回） 会場／梅田 HEPHALL／赤坂 RED シアター

⑥ 新進演劇人集中講座

国内外の優秀な指導者によるワークショップ。将来を期待される全国の新進演劇人に広く門戸を開き、統括団体ならではの多様なシステムによる研修。

A 日本の近代・現代劇へのアプローチ 西川信廣ワークショップ

平成 26 年 7 月 17 日～ 31 日 会場／文学座稽古場
講師／西川信廣
コーディネーター／佐々木綾香・久保青澄（文学座）

B モスクワ芸術座附属演劇大学夏季ワークショップin東京

平成 26 年 7 月 15 日～ 29 日 会場／青年劇場スタジオ結
講師／セルゲイ・シェンタリンスキー（モスクワ芸術座附属演劇大学教授）
ヴィクトル・ニジェリスコイ（立教大学現代心理学部准教授）
コーディネーター／福島明夫（青年劇場）

C 鴻上演劇研究所ワークショップ

平成 26 年① 10 月 26 日 ② 10 月 11 日～ 13 日 ③ 11 月 1 日～ 2 日
会場／新宿村スタジオほか
講師：①鴻上尚史 ②黒川竹春 ③板垣恭一

コーディネーター／倉田知加子（サードステージ）

D 声優ワークショップ

平成 26 年 8 月 11 日～ 17 日

会場／ SET 稽古場、東京ミュージックビデオスタジオ

講師／野村道子 ほか

コーディネーター／八木橋修・鈴木庸子（スーパー・エキセントリック・シアター）

E エデュケーションワークショップ2014

平成 26 年 8 月 5 日～ 14 日 会場／朋友芸術センター

講師：ケネス・テイラー（英国ミドルセックス大学 PGCE 課程主任教官）

コーディネーター／夏川正一・西海真理（朋友）

3. 現代演劇に関する調査研究事業

- ①年間の正会員団体の公演に関する実態調査
- ②年間の正会員団体の学校公演・海外公演の実態調査
- ③現代演劇の全国巡演状況および観客組織の実態調査
- ④上記の調査を基にした研究会の実施

4. 現代演劇に関する広報事業

- ①機関誌「join」の発行（年3回）
- ②日本劇団協議会ホームページの更新管理（随時）

<h2>そ の 他</h2>

- (1) 会議等・懇談会の開催および折衝
- (2) 「日本劇団協議会ニュース」の発行（随時）
- (3) NHK・民放各社との出演料の交渉、制作会社との折衝
- (4) 事業の斡旋
文化庁新進芸術家海外留学制度研修員の推薦
- (5) 他の団体との交流提携
芸術家会議、公益社団法人芸能実演家団体協議会（芸団協）、
一般社団法人映像実演権利者合同機構（PRE）、
東京都芸術文化団体協議会（都芸協）、全国演劇鑑賞団体、ON-PAM ほか